ポリアンナの木を作ろう

☆ねらい

○接続詞のthatを用いて、友達のいいところを表現することができる。

☆扱う場面

２年生。接続詞のthatの学習後。普段の学校生活や、直前の学校行事等での友達のいいところ探しの活動の一環として扱う。

☆教材及び単元

New Crown English Series 2 – Lesson 3 For Our Future

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| ① 教科書を用いて接続詞のthat  を学習する。 | ・接続詞thatの文法と使い方を確認する。  ・thatが省略できるのはどのような時か確認する。 |
| ② ワークシートを使い、友達の  いいところ見つけをする。 | ・クラス全員の名前が入った表を生徒一人一人に配  り、各名前の横に、いいところを日本語でメモさ  せる。  ・メモを参考に、I think that ～.を用いて英作文をさせる。 |
| ③ ポリアンナの葉に英作文をす  る。 | ・ワークシートで書いた英作文のチェックを受けた  ら、ポリアンナの葉に英作文を書きうつす。 |
| ④ ポリアンナの葉を友達に読ん  で手渡す。 | ・書いた英作文を友達に言いながら、ポリアンナの葉を渡す。 |
| ⑤ 友達から受け取ったポリアン  ナの葉をワークシートに貼り  つける。 | ・ポリアンナの葉をワークシートの木の幹に貼りつ  けて、ポリアンナの木を完成させる。 |

